



立川ひろとしの手紙

立川ひろとしのシセイ（結城市政・政治姿勢）報告 2020.10.20 発行 No.2-9 発行：立川ひろとし後援会

〒307-0001 結城市結城(公達)9858-25 TEL 0296-33-5657 FAX 0296-54-4642 http://tachikawa-hirotoshi.com h_tachikawa@tacho-net.com



コロナ禍の中での議会も3回目となりました…

日頃より皆様には、立川ひろとしの議員活動にご理解・ご支援を頂きまして有難うございます。

コロナ禍の中での議会開催も3回目を迎え、新しい生活様式、新しい議会様式というのが妥当な表現であるかわかりませんが、マスクを着用したままの質疑にも慣れてきた中で、令和2年結城市議会 第3回 定例会が開催されました。

今回の議会では、議会開会初日に出席者全員がつむぎマスクを着用して出席となり、報道機関の取材なども行われました。私は翌日の一般質問でもつむぎマスクを着用して質問に立ちました。

また、ここ2回の議会では密を避けるため報道機関を除いて議会傍聴は受け付けておりませんでしたが、

今回の議会では間隔をあけて15席（通常は40席）として議会傍聴を許可しました。団体等の議会傍聴は自粛をお願いしているものの議会傍聴解禁も一步前進です。一般質問も前回は会議時間短縮のため人数制限・時間制限を行いましたが、今回は時間制限のみで人数制限は解除となり11人の議員が登壇し、活発な質問が行われました。

11月下旬には新庁舎が運用開始となることから、現庁舎での議会は今回が最後となります。私は平成15年の初当選以来、途中不在の期間を除いて14年弱の間、現庁舎でお世話になりましたが、今回の議会は思い入れの深い議会となりました。

最終日の本会議終了後、新庁舎の見学会も実施され、新しい庁舎、新しい議場を見てまいりました。新しい議場にも良さがあり、これまでの議場にも懐かしさがあり、見学会の後、再度 現庁舎にもどり、議場を撮影してきました。



現議場での最後の議会なので
ちょっとだけマスク無しのタチカワ

【現庁舎 議場の写真】



9月定例会でこのようなことが決まりました！ 皆さんに身近な話題をわかりやすく解説！

■ 令和元年度 一般会計・特別会計・水道事業会計の決算認定と財務諸表

① 各会計の総額は以下の通り

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入一歳出
一般会計	205億 9,748万 809円	198億 1,895万 2,491円	7億 7,852万 8,318円
特別会計	国民健康保険	53億 3,585万 6,075円	53億 2,450万 8,682円
	後期高齢者医療保険	5億 7,008万 8,365円	5億 6,874万 2,365円
	介護 介護保険事業勘定	36億 4,959万 9,774円	34億 7,480万 2,833円
	保険 介護サービス事業勘定	2,120万 9,801円	2,120万 9,801円
	南部第二土地区画整理事業	1億 5,562万 3,941円	1億 1,554万 1,274円
	南部第三土地区画整理事業	7,961万 3,359円	7,911万 3,359円
	公共下水道事業	14億 1,190万 3,257円	14億 1,188万 7,257円
	農業集落排水事業	1億 1,980万 1,635円	1億 1,980万 635円
水道事業	住宅資金等貸付事業	258万 8,450円	133万 4,764円
	収益的収支	12億 3,674万 7,882円	10億 9,631万 1,347円
水道事業	資本的収支	2億 8,557万 2,000円	6億 1,910万 202円
			▲3億 5,089万 5,135円

※ 令和元年度 結城市決算資料を基に作成

※ 水道事業 資本的収支の収支不足分は設備の更新・給水管の布設・石綿管の更新事業によるもので、内部留保資金より充当

※ 収益的収支 … 1事業年度における企業の経営活動に伴い発生するすべての収益と費用

※ 資本的収支 … 建物・施設の建設といった支出の効果が次年度以降に及ぶものや、

企業債 元金償還などの費用とその財源となる収入

② 各財務諸表 … 国の基準を超えると再建計画策定などの制約が課せられるが、結城市は基準をクリアしている

	国との基準 (%)		結城市的状況 (%)	
	経営健全化基準	財政再建基準	令和元年度	平成30年度
実質赤字比率	13.24 ※1	20.00	- [- 6.88] ※2	- [- 7.70] ※2
連結実質赤字比率	18.24 ※1	30.00	- [- 23.09] ※2	- [- 24.10] ※2
実質公債費比率	25.00	30.00	8.3	9.2
将来負担比率	350.00	-	42.5	19.2

※1 実質赤字比率・連結実質赤字比率の経営健全化基準は一律ではなく市町村の標準財政規模により変動

※2 赤字ではないので算出されないことから【】部分に黒字比率をマイナス値で表記



コラム：インターン生の皆さんと一緒に地方自治を再発見

ドットジェイピー栃木支部のみなさんからお声掛けを頂いて、8月・9月の2か月間、議員インターンシップ活動として白鷗大学2年生の皆さんと一緒に活動致しました。

私自身、どういった機会を用意したら学生さんたちの学びになるか大変悩みましたが、議員になるために突破しなければならない選挙自体を見る機会はなかなか無いであろうと思い、仲間の選挙事務所を訪問し、事務所を見せて頂いたり、立候補予定者と懇談をしたり、街に出て街頭演説の様子を見もらったり、出陣式に参加したりと、一風変わった機会を提供しました。

また、学生さん自身もインターンシップ活動の傍らで、政策テーマを決めて研究し、実現方法、必要な予算などを研究して発表する活動もあることから、研究テーマを所管している部局の職員さんにお願いして、意見交換の機会も作って頂きました。

私自身も議員活動14年目に入り、自分では今も変わらず「市民派」「若手」を自負しておりますが、どんなに自分がそう主張したところで、長年この世界にいると慣れが出て、皆さんからは「向こう側の人間になってしまった」と感じることがあると思っています。

今回、若い世代の人たちと一緒に活動し、考え方につれ、疑問をぶつけて頂くことによって、私自身が最初に政治を志したときの気持ちを再認識する機会にしたいとの気持ちがありました。

また、政治や社会構造に興味ある学生さんたちに、学びの場を提供すること、自分の活動をわかりやすく語ることも議員の役目であり、良いところも、かい離しているであろうところもありのままを見せるこによって、少しでも何かを感じ取って頂いて、学生さんたちがこれから社会の中で生き抜いて人生を切り開いていく上での一助にしてほしいと思いました。

学生さんたちには、研修の一環として、また、広報活動の一環として、本誌のひと枠をつかって何かを伝えてほしいという課題を出したところ、今回の活動を通して感じたことを寄稿して下さいましたので、許可を頂いて掲載致しました（裏面）。今の若い世代の方々が政治にしっかり向き合って考えていることがよくわかる素晴らしい文章を頂戴しました。

私のようなところでの活動を希望して下さった学生の皆さん、懇談会に対応して下さった部局の皆さん、インターン生の議会傍聴に対応して下さった議会事務局の皆さんのお協力で無事に研修修了を迎えることができ、心から感謝しております。ありがとうございました。

【インターン生の皆さんとの活動写真】



■ 令和2年度 一般会計・特別会計・企業会計の補正予算を可決

① 一般会計・特別会計（6本）・企業会計（2本）の合計で10億502万1000円の補正予算を可決

② 小中学校ICT整備（国によるGIGAスクール構想※）、新型コロナウイルス対策関連事業、職員の新陳代謝に関するものが主体

※日本の学校ICT環境の整備は遅れており、自治体間の格差も大きいのが現状であることから、2023年度までに義務教育段階にある小学1年生から中学3年生の児童生徒向けに学習用端末を1人1台導入し、端末を同時に接続しても不具合の起きない高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、資金面も補助するという文部科学省の事業

③ 主なものは以下の通り

・ふるさと結城応援寄付金推進事業	2,873.3 万円
・オンライン窓口整備	369.7 万円
・公共施設庁寿命化等推進基金積立	2,587.0 万円
・テレワーク環境整備事業	5,163.1 万円
・税外収入過年度精算還付金（12種）	7,968.2 万円
・申請時特別臨時給付金事業	3,006.8 万円
・経営相談緊急支援窓口開設委託料	100.0 万円
・事業所感染症対策支援事業	8,447.8 万円
・プレミアム付き商品券販売事業委託料	1億 円
・伝統産業支援事業	1,000.0 万円
・市道舗装修理工事	1,000.0 万円
・市道整備事業	1,597.0 万円
・山川不動尊あやめ園整備事業	605.0 万円
・防災行政無線親局無線機鋼管工事	682.0 万円
・災害時避難所感染対策事業費	663.3 万円
・小中学校感染症対策事業費	709.9 万円
・小学校ICT環境整備事業費	2億 3,281.1 万円
・小学校空調設備整備工事	3,772.2 万円
・中学校ICT環境整備事業費	1億 1,876.2 万円
・中学校普通教室改修工事	2,356.5 万円
・中学校空調設備整備工事	947.9 万円
【介護保険】過年度精算還付経費（3本）	7,373.3 万円



結城の課題にしっかり提言！立川ひろとし一般質問ダイジェスト！

1. 新型コロナウイルス感染患者に対する体制について

国内で新型コロナウイルスが蔓延して約10か月、医療機関での治療に繋がれない事例や、軽症者が自宅で隔離生活を送る難しさ、2類から5類への変更が検討される、などが報道される中、あらためて本市の体制を確認しました。



執行部からは以下のような答弁がありました。

茨城県では医師を中心とした「入院調整本部」を設置し陽性者の病状や県内医療機関の稼働率等の情報を一元管理、陽性者の入院、宿泊施設での療養、自宅療養等を決定（県単位で運用）

病床数 … 7/30以降 31病院 171床を用意

8/31現在の入院者数は45人

今後の流行ピーク時に備え

入院病床約500床を県内40病院で確保

稼働率等に応じて段階的に増減させる計画

隔離施設 … 8/12からは約100室で運用

8/31現在の療養者数は13人

今後に備え最大300室を確保する予定

2類⇒5類への変更は、今まで行ってきた無症状者への適用、入院勧告・措置や全数報告などが不要となるなど感染拡大防止に係る体制が大きく変わる可能性がある。現時点で詳細な情報が入っていないので今後の状況を注視。

2. 結城市経営相談緊急支援窓口について

新型コロナウイルス蔓延で、結城市でも様々な業界が経済的な打撃を受け、さらには冬に向けての第2派、第3派が予測され、厳しい経営をせまられている方々が多くおられると思います。そこで



- ・「結城市経営相談緊急支援窓口」での相談内容を分析し結城市内の各業界の経営状況を把握すべき
- ・市民全体にアンケートを取り、皆さんがどんな問題で困ったのか、経済の落ち込みの状況を実データとして採取し、新型コロナウイルス対策予算編成に役立てる
- ・先々、新種のウイルスなどで同様の状況となった場合にこのデータを生かしていち早く対策を打てるための基礎データにすべき

との観点で質問しました。

執行部からは状況把握について以下の答弁がありました。

市では小規模事業者緊急支援給付金をはじめ支援制度の申請に関わるデータを保有しており、商工会議所が新型コロナウイルス感染症の影響について、会員の中から80社に対してアンケートを実施するなど、活用できる情報があるので今後これらを分析し状況把握に努め支援施策の検討に活用したい

3. 新型コロナウイルス対応に伴う

延期事業（修学旅行）の代替措置について

あたらしい生活様式の中で、学校行事も簡素化するなど工夫しながら実施しているが、「修学旅行」は学校内だけではなくともしがたく、中止せざるを得なかった事は残念であり



- ・今回修学旅行に行けなかった学年の生徒さんたちに、将来、思い出に残る形で何らかの代替事業を実施してほしい

- ・そのための予算措置についても現在国から降りてきている新型コロナウイルス対策予算を繰越や基金化により確保して将来使うことができないかとの観点で質問を致しました。

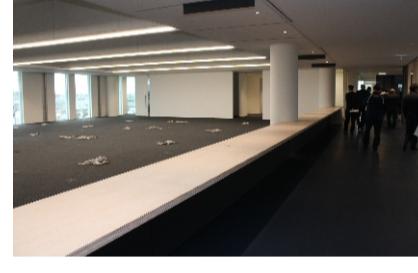
執行部からは以下のような見解が示されました。

各学校では少しでも学校生活の思い出づくりができるよう感染リスクが低いと考えられる茨城県内や栃木県の日光・那須方面等の日帰り遠足を修学旅行の代替えとして計画している。

市としては、将来的に修学旅行が中止になった学年の児童生徒を対象とした何らかの代替イベント等を開催することについて可能性を検討していきたい。その予算措置についても今後の課題として検討していきたい。



新庁舎 見学会に参加してきました！11月下旬の供用開始始までもう少しです！



インターンシップで来て下さった学生さんたちからの寄稿です 将来を担い政治にきちんと向き合う若者たちの意見です

元々私は政治や選挙について余り関心が無く、議員が普段どのような活動をしているのか、どういった仕事をしているのかを知らないまま茨城県結城市的立川ひろとし議員事務所に参加させていただきました。初めての顔合わせの際には、みんなで食事をするなかで、議員と言ってもいつも政治の話や活動ばかりしているわけではなく、一人の人間として私たちと接しているのだなと感じさせられました。

結城市だけでなく大洗町で行われた町長選挙の街頭演説や出陣式などを見学させていただいたほか、結城市での政経フォーラムの受付の対応や市役所での議会傍聴を通じて、議員さんは私たちの生活を守るために、豊かにするために人々の生活に目を向けている事を知りました。よく政治家は国民に目を向けていないとの声が挙がりますが、このようなインターン生を受け入れて一般の人々に寄り添う議員さんがいることをもっと知って頂きたいとさまざまと感じさせられました。

最後にこの場をお借りしてお礼申し上げます。メンバーの方、ドットジェイピースタッフの方、そして受け入れてくれた立川議員さん、誠にありがとうございました。

こんにちは。この度ドットジェイピーが運営する議員インターンシップに参加し、立川ひろとし議員のもとでお世話になっておりました。今回のインターンシップは友人に誘われて参加しましたが、この8月と9月の2ヶ月間は茨城の様々な場所を回り、たくさんの方から良い刺激を受け、貴重な経験を積むことが出来たので他の人とはまた違った夏を過ごすことが出来たと思います。

このインターンシップでは、「未来国会」という場でのプレゼンテーションがあり、その発表に向けて私と同じく立川さんのもとで活動しているメンバーと共に若者の投票率が減少していることをテーマとし、それを良くするための政策やその政策にかかる予算などを考えていました。その政策を考える上で議員さんからお話を伺ったのですが、私たちの質問にとても丁寧に答えてくださいました。また、お話を聞いていく中で一番を感じたのは、議員さん達がとても気さくで話しやすい方であるということでした。政治に関わっている方は気難しい方なのかな…という思い込みがありました。報道されるニュースや新聞からは分からず新たな一面を知れたような気がして嬉しかったですし、このインターンシップに参加して良かったと思いました。

最初は、政治についての知識が乏しく、ただでさえ人見知りな私はこのインターンシップを終えることが出来るのだろうか…と不安でしたが、議員さんたちが暖かく迎えて下さったおかげで毎回の活動がとても充実したものになりました。関わってくださった皆様本当にありがとうございました。

こんにちは。8月～9月にかけて立川ひろとし議員の下でインターンをさせて頂きました。まず私がなぜこのインターンに参加したのか。私たち若者世代は政治に密接に関わる機会があまりありません。私たちにとって政治家とは一枚壁を隔てた存在のように感じている部分がありました。それをこのインターンを通して自分の目で見てみようと思ったのです。

立川さんが様々な経験をさせてくださいました。街頭演説や議会傍聴、市役所の方とのディスカッションや県庁訪問など…。そこでは多くの人たちが、人々のためにこの町や県を変えたい！という思いを持ってたくさんの取り組みを行っていました。議員さんは私たちのことを常に考えて動いてくれていました。対して若者は政治から離れていくばかりです。しかし、私たちが知らないだけで、大人は次世代のため、若者のため新しい多くのことを行っており、政治に対する印象はガラッと変わりました。

このインターンで関わった人々は、皆明確な目的があってそれに向かって懸命に動いている方ばかりでした。私はまだ自分のやりたいことがありません。そのような学生はたくさんいると思います。そういう方々にはぜひこのインターンを体験していただきたいです。必ず自分の中で何かが変わるのはずです。

最後に、お世話になった立川議員、そのほかの方々、本当にありがとうございました。

今回も無事にお届けできたので編集後記と反省

今回は、議会活動のこと、新庁舎のこと、立川事務所にインターンで来て下さった学生さんたちのことなど、掲載したい内容が盛りだくさんでしたので、いつもより微妙に文字を小さくして、頑張って押し込みました。

また、紙面の関係で、議会の審議内容を報告するコーナーに決算や補正予算しか掲載できなかったり、【ネットやSNSでも活動報告＆質問受け付けます】【何者か分からないと言われなくなるまで自己紹介】【おれの看板立てさせて下さい】のコーナーも残念ながら割愛しました。

贅沢なもので、最初はこんな大きな紙面をどうやって埋めようか悩んでいたのですが、今では、もう少し紙面がほしいと思うようになってしまいました。今後も、掲載内容を厳選し適度な文字の大きさ、適度な余白を確保して、見やすい紙面づくりを心がけたいと考えております。今後とも是非本誌をご覧頂けますよう宜しくお願い致します。



でんわしてね★